

ふるさと歴史散歩 254

～松前史談会レポート～

太山寺、白石の鼻を訪ねる I

愛媛県の3つの国宝を巡る歴史散歩の締めくくりとして、太山寺本堂を訪れた。

太山寺は、真言宗智山派の寺で、本尊は十一面観世音菩薩。四国八十八箇所霊場第52番札所である。創建者は豊後(大分県)の真野長者と伝えられる。

飛鳥時代の用明天皇2(587)年に長者が商いのため船で大阪に向かう途中、高浜沖で嵐に遭遇した。観音様に無事を祈願したところ、山頂から光が差し、嵐が静まり難を逃れた。長者が山頂に登ると、1寸8分の十一面観音像を祀った小さなお堂を見つけたという。長者はこの恩に報いるため国に戻り、工匠を集めて木組みを整え船で運び、一夜で寺を建立したと伝わる。

その後、天平11(739)年には聖武天皇の勅願により、行基(奈良時代の僧)が十一面観音像を刻み、その胎内に真野長者が見つけた小像を納めて本尊としたとされる。

孝謙天皇(在位749年～758年)の頃には七堂伽藍と66坊を備える大寺院となり、天長年間(824年～834年)には弘法大使が訪れて護摩供を行い、寺

は法相宗から真言宗へ改宗した。その後荒廃したが、鎌倉時代の嘉元3(1305)年に河野氏によって再建され、現在の国宝本堂はこの時代のものである。次号に続く。(徳香 記)



① 二の門(仁王門) 嘉元3(1305)年再建。入母屋造本瓦葺き八脚門。仁王像(県指定文化財)安置。明治37(1904)年重要文化財指定。門付近に小原六六庵の石碑や種田山頭火、柳原極堂、村上杏史などの句碑がある

② 国宝太山寺本堂 嘉元3(1305)年再建。昭和31(1956)年国宝指定。桁間7間(16.38m)、梁間9間(20.91m)。県下最大の木造建築物。堂内には、本尊のほか、孝謙天皇が奉納した十一面観音像、平安時代後期に冷泉天皇以下、後三条、堀川、鳥羽、崇徳、近衛の歴代天皇が奉納した十一面観音像が安置されている

7月の歴史散歩は実施しません。

松前史談会(鷺野) ☎ 080-5666-5439



【開館時間】 9時～22時 【休館日】 12月28日～1月4日
 ◆東公民館 神崎210 ☎ 984-1159 FAX 984-1457
 ◆西公民館 北黒田966-2 ☎ 984-5313 FAX 984-5313
 ◆北公民館 昌農内456-1 ☎ 984-7529 FAX 984-9398

5月22日、自治公民館と愛護部連絡協議会の役員研修会を開催し、46人が参加しました。

今年度の北公民館事業計画の説明後、伊予市立由並小学校校長中尾治司先生を招き「生き抜く力を育てる地域教育」と題した講話を実施。子どもの成長過程において体験学習が必要、そしてそれは地域の教育力が重要であり、それが持続可能な地域コミュニティの基盤づくりにつながることを学びました。

最後にそれぞれの役割ごとに分かれ、情報交換会を行いました。活発な情報交換が行われ、自治公民館活動や子どもたちの健全育成のための有意義な時間となりました。



④中尾校長先生による講話
 ⑤情報交換会で活発に話している中



Let's Enjoy Books

ふるさと ライブラリー

◆開館時間 9時30分～19時
 ◆問い合わせ ☎ 985-4140
 FAX 985-1386
 ◆7月の休館 31日(金)
 ホームページはこちら▶

「夜空へつづく朗読会」
 25日④19時～
 文化センター1階
 リハーサル室
 ※ 大人向けのお話会です

◆新着本 紹介

毎週新しい本を入荷し、随時、新着本コーナーに展示しています。貸し出し状況、予約状況はお問い合わせください。

▶ラスト・ワルツ
 小手鞠るい・著
 平凡社



かつて裏切られた親友から届いた、余命を告げる一通のメール。アメリカ、京都、そしてアイスランド。ロードムービーのように過去と向き合いながら、永遠子がかつての恋人を探す旅へ出る

▶彼の空のユンカース
 椋サナカ・著
 双葉社



亡くなった曾祖母の鏡台に隠されていた、一通の手紙と歌集。高校生の雅美は、友人と共に歌集の秘密を探り始める。「短歌」をテーマに描く、切なく優しい記憶の物語

▶多類婚姻譚
 風良ゆう・著
 講談社



どうして結婚はこんなに難しくなってしまったのだろう。ジェンダーや金銭感覚など、あらゆる価値観の対立の中で生きる私たちの折りと呼び。二度の本屋大賞受賞作家が描く、今そこにある愛のかたち

▶ふしぎな手品のヒミツを大公開! だれでもできるサイエンスマジック
 ささばう・著
 工学社



光や磁石、化学反応などを利用した手品のやり方をたくさん写真とともに紹介。楽しさと学びを同時に得つつ、自由研究のヒントとしてもおすすめです

▶シニア世代の住み替えのススメ
 佐藤竜志・著
 幻冬舎メディアコンサルティング



家族と共に過ごし、いくつもの思い出を重ねてきた「家」。簡単に手放すことはできないけれど、これからは安全に暮らしていけるかと考えると悩ましい。そんな悩みを抱える家族に読んでほしい1冊

▶ちいさな紳士 パートルビー
 マット・フェラン・文と絵
 椎名かおる・訳
 あすなろ書房



トレードマークは、帽子にネクタイ。控えめで、自分のことより、まずみんなのことを考える、礼儀正しいくまのパートルビー。いつも「ばくは、ちょっと…」ばかりだったけれど…